

【別紙様式】

平成 26 年度 津山市立大崎小学校

改善プラン「平成 26 年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（12月）

	学校の取組・改善方法 (課題に対する改善方法)	進捗状況 (学期末時点)	3 学期及び来年度へ向けて (具体的な達成目標や数値目標等)
	授業では本時の「ねらい」を提示し明確化させる。 授業の単元最後に振り返り学習を行う。また、学習課題に応じて既習事項や関連事項を復習する。 視覚的教材や提示装置の積極的利用で、授業内容をわかりやすくする。 学習の基礎基本である読み書き計算と聞く・話す・考えるを重視した授業を進める。	C	国語科算数科の勉強が好きだと好意的に答える児童を、1割以上増やす。 学力テストの平均正答率を上げる。言語領域は105(全国平均100として)以上を目指す。
	朝学習、放課後学習、家庭学習で、個人の学習時間の量と質を高める。個別指導にも対応していく。 家庭と連携をして、「お手伝い・マッサージカード」などを親子の触れ合いを増やしてもらう。 家庭や中学校と連携して、家庭学習の時間をより延ばし充実したものにす。	C	家庭学習時間(低=20分 中=40分 高=1時間)の割合を5割以上に上げる。
	「ほめほめカード」などを利用し、児童の良いところに気付かせ自己肯定感を上げる。 地域ボランティアの活動をより活性化し、学校と地域の連携を強め児童を多面的角度から育てていく	D	Q-Uテストで要支援群の解消と、学級生活満足群に属する児童の割合を5割以上上げる。

進捗状況・「S：目標を大きく上回った(100%を超えている)」「A：目標を十分達成できた(85%以上100%未満)」「B：目標を概ね達成できた(70%以上85%未満)」「C：目標をある程度達成できた(50%以上70%未満)」「D：目標をあまり達成できなかった(30%以上50%未満)」「E：目標を達成できなかった(30%未満)」